

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0501	政策名	効率的・効果的な行政運営		施策主管課	秘書政策課		課長名	富澤 秀和		
政策の目指す姿	満足度の高い行政サービスを提供しています										
施策No	03	施策名	わかりやすい市政情報の提供		関係課名	東和総合支所地域振興課					
施策の目指す姿	タイムリーで分かりやすい市政情報を提供しています										
現状と課題											
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報や市ホームページ、コミュニティFM、SNSなどの市が所有する媒体を活用し、市政情報を発信しているほか、定例記者会見などを通じ、マスコミへの情報提供を行っています。 ・原則月2回発行している広報は、区長をはじめとする地域の方々のご協力を得て全戸配布していますが、配布に携わる方の高齢化や担い手不足のため、地域の負担が増えています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政情報が、より多くの方に迅速・正確に伝わるために、若者、高齢者など幅広い年齢層や生活形態に合わせ、様々な情報発信の方法とわかりやすい表現方法をとるよう工夫するとともに、新聞やテレビ・ラジオなどを通じて市政情報の発信ができるように、積極的にマスコミに情報提供を行うことが必要です。 ・広報等の配布の負担軽減のため、広報の発行回数の見直しを求める声があります。一方で、広報発行回数を削減することで、市の施策や事業などの情報をタイムリーに発信することが今までより困難になることから、広報の発行回数について慎重に検討する必要があります。 											
前年度の評価の振り返り											
前年度評価時の今後の方向性											
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、わかりやすくタイムリーな情報発信となるようまた、広く早く情報が取得できるよう情報の内容によって、利用する媒体の発信する順番等を工夫する。 ・広報はなまきの発行回数について、地域の労力負担の軽減を念頭に置いて関係部署と引き続き協議を行うとともに、インターネットを介した情報取得の動向を探る。 											
反映状況											
<ul style="list-style-type: none"> ・広報はなまき、市公式ホームページ、有線放送（東和）、SNS、コミュニティFMなど、市が使用する媒体のそれぞれの特性等をふまえて市政情報の発信を行った。 ・ホームページやSNSで発信する市政情報は、受け手の視点でわかりやすいタイトルとするなどの工夫をした。 ・広報はなまきの配布について、地域の労力負担の軽減を念頭に置き、発行回数等について検討した。 											
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組											
<p>(1)市政情報の発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 「広報はなまき」への掲載情報の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・広報は毎月1日（1月を除く）、15日に広報はなまき発行 広報配信アプリ「マチイロ」R3登録者数1,746人（前年比 200人増） ・市HPアクセス数 R3:8,880千件、R2:7,028千件、R1:5,865千件 市民がより見やすい、使いやすい市ホームページの構築 ・情報が取得しやすくなるようトップページにバナーを設けたり、随時見直しを行い階層の修正等を行った。 コミュニティFMやSNSなど様々なメディアによる情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・定例記者会見の内容や広報のトップ記事を取り上げるとともに、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症に係る市議会臨時会の市長報告等、感染予防や支援策等の周知を行った。 ・フェイスブックやツイッターを活用して市政情報を発信（FBリーチ数 R3:417千件、R2:454千件、R1:582千件、ツイートインプレッション R3:4,712千件、R2:3,998千件、R1:4,209千件）、そのほか、引き続きインスタグラムは当市の魅力的な風景を中心に発信した。また、有線放送は放送事業を民間委託して実施し、それぞれに情報を発信した。 定例記者会見の開催などマスメディアを通じた情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の定例記者会見の資料やマスコミリリース用の資料について、内容やタイトルがわかりやすくなるよう工夫して発信した。 広報はなまきの発行回数の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はなまきの世帯配布など、地域の労力負担の軽減について、配布・発行回数を減らすことなど、他市町村の例を参考に関係部署と研究検討した。 											
2 成果指標											
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05	
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
(広報活動事業)市民アンケート「市役所からの情報提供がタイムリーに分かりやすい」とされる割合は、R3:58.8%(R2:57.7%、:66.2%、H30:65.9%)と、前年度比較で低下した令和2年度より僅かに上回ったが、事務事業評価の目標値70%を達成するために、今後においても他の優良事例などを参考としながら、受け手にとってわかりやすくタイムリーな情報発信を行う。
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
・市が所有する媒体の使用のほか、マスメディアも有効に活用して情報発信を行う必要がある。 ・原則月2回発行している広報はなまきの世帯配布について、地域の労力負担の軽減を考慮し、発行回数等を見直す必要がある。
今後の方向性
・情報の伝わり方も意識してわかりやすくタイムリーな情報発信となるよう利用する媒体の順番等を工夫する。 ・広報はなまきの発行回数等について、地域の労力負担の軽減を念頭に置き、市民アンケート等の結果やインターネットの利用状況も考慮して、デジタル化も視野に入れ今後の方針を検討する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	広報活動事業費	秘書政策	一致	直結	C
	広報はなまき、市ホームページ、SNS、コミュニティFM、花巻ケーブルテレビを活用した市民への情報発信 (広報発行部数 36,597部/回(全841,720部/23回発行))				
011	広報活動事業費	東)地域	一致	直結	
	東和地域における有線放送による情報発信 (放送件数 529件/年)				